



諸數  
名寄  
萬物往來  
一全





海女

一  
乃  
盛  
魚

上夏



諸  
數  
萬  
物  
往  
來  
名  
寄

聖代始  
河圖洛書  
現

支那の河  
 儀世と治めたる  
 純馬居  
 河  
 威と教を示す  
 人  
 背より文あり凡  
 人  
 儀は物とて八  
 教理を達し始て八



和妻

卦と儀の東河場  
 一より十を方中央  
 配せ教微めり成  
 會の之後夏禹  
 王は河を乃て大禹  
 此を齊と之甲方之  
 あり是と治とて  
 等しく治とて  
 天子通教と治とて  
 此を九疇とて  
 他ありは示す



亀

河島を以て其の相剋を以て其の用と云はるるものなり  
 今算數の學も大に其の益を以て其の用と云はるるものなり  
 外に其の益を以て其の用と云はるるものなり  
 本朝の算數は其の用と云はるるものなり  
 文章と云はるるものなり

天保六乙未年夏月

壹式  
 天一水を生ず地六  
 是成二清數三  
 又七九をまて陽の  
 二切二世云一章ハ  
 十九年に因七の五  
 算數を以て其の用と云はるるものなり  
 二世六二十年云

精數萬物從來  
 名寄萬物從來  
 史ハ萬物の始數の  
 根系不可測もこれあり  
 起る日月星辰一氣の  
 旋回方有数の文字是





海内長史の事

三貫兩

二刻を其基

二二の

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二二

二典ハ

二通ハ

二通ハ

二載レ

二史ハ

二物志ハ

二傷紀ハ

孟子

右經

事

二帝ハ

端及の字中二獨

筆二死日月二世今

生後世二季中二筆

二柱二律二特二冊二

宗廟ハ二二

和勢の二二

二道ハ文と武二

春縣の二二

現ハ二二

元二二

虞舜。主門の二  
 非。其。賢。則。其。子。  
 賢。則。今。之。時。也。  
 門。之。賢。也。其。子。  
 矣。大。臣。之。心。不。動。  
 二。子。子。六。於。加。河。  
 世。之。多。也。其。子。之。  
 祖。妻。嚴。相。尚。高。能。  
 法。中。俱。合。の。二。祖。  
 天。空。世。親。ま。は。薩。支。  
 形。乃。空。深。際。成。実。



の二祖ハ天竺波磨  
 三光支那高麗長  
 三藏。竟の二女ハ  
 皇女英。漢の二祖ハ  
 高。子。祖。後。光。武。

睿山三塚山も乃二流ハ  
 東水為能祖言の踏也  
 大藏也の北條泰  
 時時房と始と二陽の

一と陰の二成合せ天地  
 人二身の道之三光ハ日  
 月星三夏の故也を色  
 三國日本も亦光也三  
 韓ハ馬も厚後新羅

再教

伊勢

六



三

○三つは東倭を敵天  
 市。三つは元日之奉  
 と月。月元之。元六  
 上元。元月。十。各中元  
 七月。十。元。十。月。十  
 の。二。晋。韓。魏。魏。魏  
 晋。を。三。つ。ま。よ。る。名。三  
 大水。美。河。長。江。鴨  
 江。三。河。八。河。洛。渭  
 二。河。八。河。洛。河。淮

河。三。江。八。荆。江。松  
 江。浙。江。日。本。三。河。の  
 蓬。萊。八。富。士。熱。田  
 熊。野。三。大。橋。八。山  
 橋。宇。治。勢。田。本  
 武。史。六。本。六。本。多。経  
 今。六。本。八。船。後。七。三  
 統。八。其。又。天。正。殿。小  
 地。西。園。八。人。中。三。水  
 と。の。意。方。也。西。月。を  
 三。つ。ま。よ。る。名。三。つ。ま。よ。る。の

百波を雁と射る三遠

火途血途刀途三仙

島蓬萊方丈瀛洲

三東八松島嚴島揚立

三雲八いのお坂勢の致来

波の本箱出羽の三正は

月山湯殿国惣意屋野三

山本又新天船皆三

津京江八坂三存の

神意八神雨雲内侍新室

く... 公事... 律... 者... 送... 元日... 二易... 周易... 乃... 新... 三社... 水... 長... 日... 二... 大... 九...

和... 平... 如... 儀... 業... 同... 彭... 除... 大... 月... 空... 後... 深... 大... 厨...

三... 大... 檣... 行... 平... 三... 矢... 人... 在... 通... 媛... 光... 如... 皇... 后... 小... 彭... 所... 能... の... 三... 老... 女... 桂... 垣... 姨... 持... 園... 寺... 三... 癩... 長... 子... 兄... 弟... 人... 備... の... 三... 号... 只... 君... 父... 師... 公... 所... 了... 此...

三... 大... 檣... 行... 平... 三... 矢... 人... 在... 通... 媛... 光... 如... 皇... 后... 小... 彭... 所... 能... の... 三... 老... 女... 桂... 垣... 姨... 持... 園... 寺... 三... 癩... 長... 子... 兄... 弟... 人... 備... の... 三... 号... 只... 君... 父... 師... 公... 所... 了... 此...

再收

再收

司徒國を又丞相  
太尉御史大夫世  
代子依て是を本朝  
を改むるに左右大臣  
三官職は右御史太  
右丞相を右丞相皇  
后は二氏の夏殷  
周。上より三皇と天  
皇氏地皇氏人皇  
氏。三百六十五犧神  
農皇帝。二皇は

ハシ

文殊普賢金剛の三尊

金胎綱二文の浦島太郎

立派枯木山三尊の百子

多摩子もも備前守の二本

備前守の鏡川名もも

夏の鳥段の湯周  
の武。三姑姐の夏の  
妹在殷の姫已周の  
寝姫。三和老老子  
仲尼教回。画六酸  
吸ハ釈迦孔子老子  
三子ハ老子莊子  
列子。鳥の三桓ハ  
仲孫季孫叔孫  
漢の三傑ハ張良  
蕭何韓信。蜀の

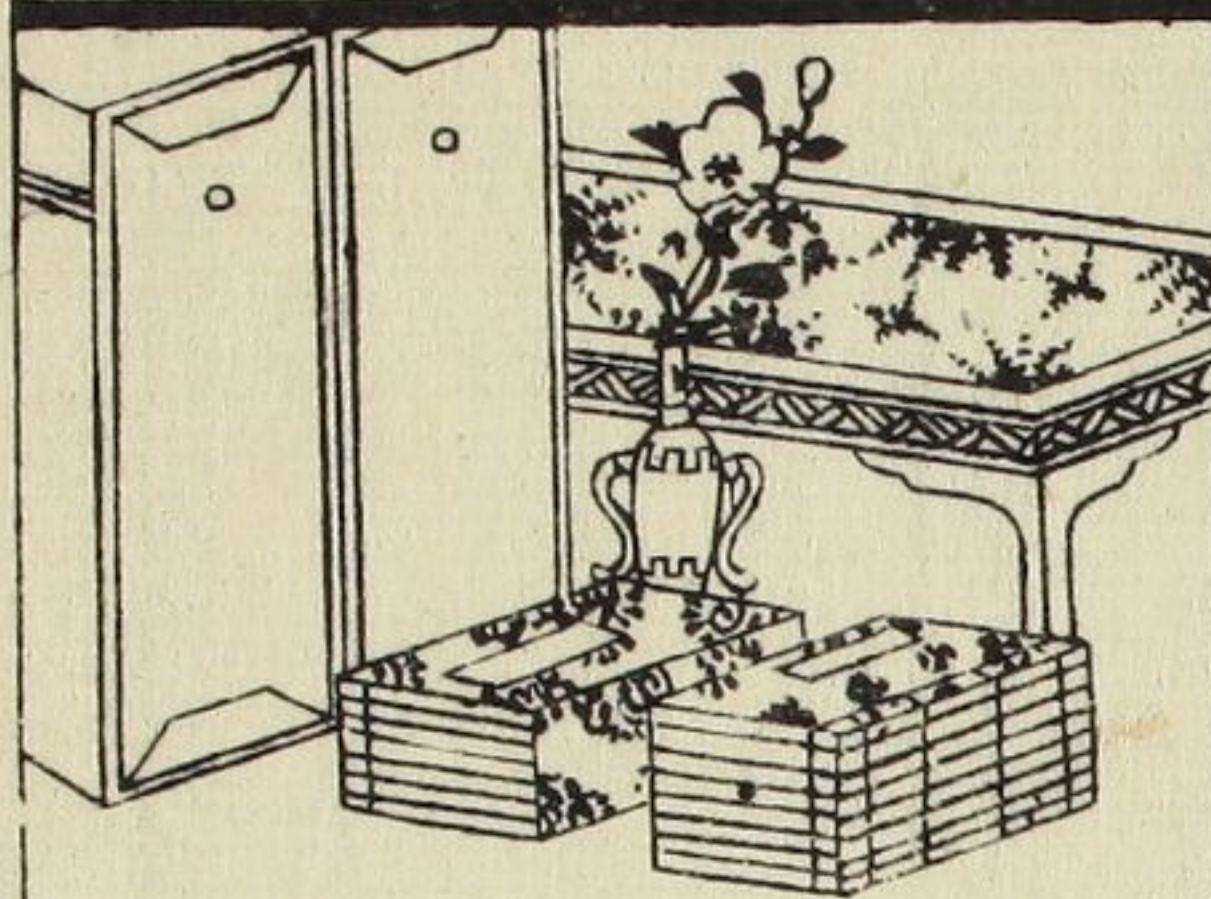
劍塚女母ハお玉二世を  
るる現世来来三子其  
弘法僧三徳智仁勇  
三達子ハ爾等國神院室  
の三社ハ天照皇天大神

海致

九

三條六孔明冥相強  
 飛。虎溪の二笑ハ  
 傍の惠遠陶淵明  
 陸子静。畫の三  
 祖。顧長康。張僧  
 繇。陸探微。胎の  
 三。六寸。夏尺。三  
 孔。因。孔。儀。孔。孔。記  
 三。傳。六。九。傳。公。羊  
 傳。穀。梁。傳。三。夜。ハ  
 備。他。處。後。必。後。三

代集ハ古今拾遺  
 後撰。管の三曲ハ  
 四季。扇。雲。井  
 三三肆  
 四。八。公。經。暎。計。都



右八幡大神  
 神三氣ハ経律満  
 戒玉慧三垂来ハ  
 志口ハ二成倍  
 天半も茶も天  
 天半も茶も天

秋曼天冬上  
 日月星辰運氣  
 水尖去石比  
 骨川脈

家親月事。日月の  
食と求る用之。口を  
約締嘗虫。天の  
に姓利利ハ王持  
程門ハ有名。虎  
鬼舎ハ高。高山に  
皓ハ本園公夏黄公  
角里先生。綺里季  
漢のに相ハ蕭何  
曹參魏相丙吉。  
程門ハ先生揚龜

山謝ハ蔡海宮吏  
呂登田。日本に大  
昨ハ信教弘法慈光  
智燈。室前ハ  
宏赤松一久系  
四美規矩準繩  
服久口等ハ一二三  
品ハ茶にみ茶ハ餅六  
七雲緑ハ九雲ハ  
書ハの字ハ丸ハ史  
漢。和教の口書ハ

肉に方ハ車馬ハ  
良巽坤乾ハ神元  
龍右白虎前朱雀  
後玄武ハ大地水ハ  
風  
冥執ハ地獄鬼書

生彼羅中氣  
陽其意ハ朱明  
冬ハ玄英ハ  
其社ハ  
化  
風  
龍

辨數

十一

大和修吉竹操字  
津保御燈。方伎の  
宗師。医経家。方家。  
房中家。非仙。有  
識。口の大奉。後  
云。文奏叙位除  
目。学牛の口。后ハ  
紀律明経明法  
筆。及。口。知の大  
宗。及。最。二。後  
法。相。天台。口。後。の

法要。梵。具。教。花  
梵。音。湯。杖。口。後。  
法。仙。口。值。口。人。具  
法。及。好。口。後。口。後。  
太。及。口。後。口。後。口。後。  
却。及。口。後。口。後。口。後。  
葬。口。水。漂。火。焚。去  
埋。口。口。口。口。口。口。  
殺。盜。婦。妾。口。口。口。  
苦。集。滅。口。口。口。口。  
我。相。人。相。花。生。相

口。天。皇。口。身。持。口。身。持。  
去。口。西。廣。國。口。北。口。口。  
天。口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。口。

身。口。口。口。口。口。口。  
得。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。  
口。口。口。口。口。口。口。

海故

十三

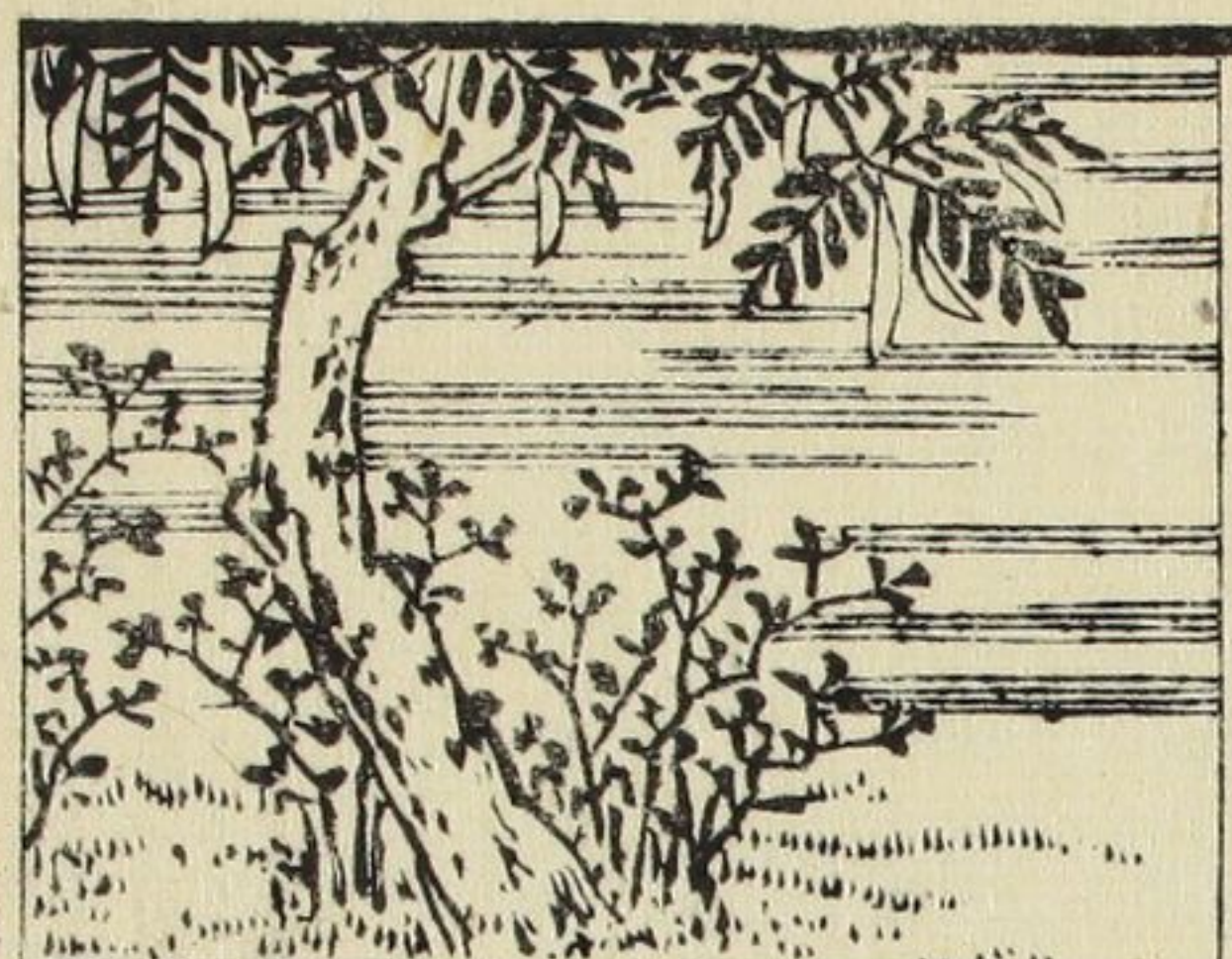
青老相。口舌量  
分。若。悲。弄。持  
。而。の。口。科。ハ。徳。の  
言。の。以。事。文。学。  
守。安。の。口。字。勤。謹  
和。後。不。久。に。事。ハ  
。老。秋。後。火。老  
健。老。電。に。不。出。ハ  
大。電。大。早。と。風。大  
。に。級。碑。ハ。元。魯  
少。基。碑。事。其。が

文。教。主。卿。が。書。事  
水。陽。が。家。家。四  
兵。八。象。馬。車。歩  
。待。の。に。聯。そ。蘇。領  
聯。頭。聯。末。聯。六  
。向。胸。向。腰。向。落  
。と。も。云。知。る。老。の。に  
不。闘。公。法。執。理  
の。あ。る。は。戦。さ。る。と。云  
。卷。子。の。口。決。ハ。暴  
。悪。と。去。て。性。を。ま。か

室。下。下。の。季。武。義。仲  
突。今。并。事。年。梅。口。為。光  
楯。想。忠。操。并。の。在。義。隆  
。病。并。片。長。存。勢。後。河。六  
。德。田。密。及。同。元。取。作。義。嗣

信。同。忠。存。義。貞。の。義。隆  
。梅。塚。畑。畑。直。理。和。秋。武。光  
。河。為。好。深。無。慶。運。口。貞  
。上。杉。野。室。尾。子。時。之。内  
。義。貞。大。友。宗。麟。口。貞。光

思量を少くして  
非と表云はれ  
省て事と事と思  
歌と信と心と事  
郷より居は約ハ使  
業お勤る事お  
規礼俗お交違  
恥お悔ハ事お  
耳安は極と事  
目安お祝と事口  
安は言と事心安



桑楮漆茶。書  
の口許ハ事お  
篆。音刻の口別  
長音深事唐音

士農工商に究る  
蠶桑孤独に女母兼味  
頑真に股もるも脚  
野老平上老人に威儀は  
乃伯中亦口者生老病

死に教文の老に婦  
言極切容夫の口極  
元亨利貞人女儀礼  
始人情の口獨の側居者  
悪辞穢星非に威る



和判。江元ハ江都  
 の舟更比丘比丘  
 尼優婆塞優婆  
 夷。江句の文ハ法乃  
 毎々。是生滅法  
 生滅滅已寂滅  
 為樂。大德寺の  
 江流如流南流冥  
 流一休流。四  
 乃の乃軍。武津川  
 別丹波乃至今令。有

依津彦。大彦。彦氏  
 の江門ハ江海。江子  
 江流。別れ南流北  
 家。家。家。家。武乃  
 の江。平。平。維衡  
 源。源。源。源。致。致  
 彦。彦。彦。彦。吳。吳。四  
 於。於。於。於。魯。魯。蒙  
 陸。陸。東。東。坡。坡。の。の。江。江。門  
 生。生。黃。黃。山。山。谷。谷。是。是。補。補。之  
 秦。秦。魏。魏。張。張。葉。葉。明。明。朝

視。視。極。極。之。之。動。動。法。法。今。今。の。の。江。江。の。の  
 津。津。令。令。格。格。式。式。凡。凡。凡。凡。之。之。冠。冠。昏。昏  
 喪。喪。法。法。江。江。能。能。の。の。現。現。今。今。其。其。基。基。書。書  
 馬。馬。文。文。房。房。江。江。友。友。の。の。江。江。筆。筆。書。書  
 紙。紙。由。由。樂。樂。江。江。彦。彦。の。の。江。江。筆。筆。書。書

室。室。生。生。令。令。別。別。第。第。の。の。江。江。流。流。ハ  
 一。一。有。有。森。森。田。田。毛。毛。目。目。湖。湖。揚。揚。卷。卷  
 江。江。北。北。之。之。天。天。知。知。比。比。知。知。他。他。知。知。我。我  
 知。知。佛。佛。江。江。智。智。大。大。彦。彦。後。後。智。智  
 平。平。字。字。性。性。智。智。妙。妙。記。記。江。江。智。智。成。成

日僕李空同何  
 大後宗干隸五  
 風湖。日妃のそ妃  
 淑妃佳妃賢妃。  
 日親の祖又祖母父  
 母。日妻の大學中  
 庸。湯後孟子。日  
 庫の書の支那ま云  
 如。經史子集。凡  
 支の日例のそ若  
 吾我不浮

不作智日圓は天地皇  
 父母元生の恩之詩の日  
 法。紀向日書有將旬合  
 句和歌の日病痒相風  
 燭海船落花又登河

伍  
 又風の日一日の風又  
 仁院の坊風信風物  
 風情風の風又秋  
 凶奴敏額蜜吉  
 單干白屋。又法の  
 東山山南云誓山  
 西天山山の医巫山  
 中の霍山。天竺の  
 又六祇園精舍  
 林精舍大林精舍

湯浩書中央の教志  
 属乃押一あり又まで生  
 教六を十と成成教  
 云天々の陽教二三又  
 七九の奇種教二十又

聖陀林結全形蒙  
 陀寺。支那のり中  
 經山寺育書天  
 音寺吳陽寺淨  
 慈寺。日本の又六  
 天龍寺相宗寺建  
 仁寺在後も万壽  
 寺。後念又六建  
 長寺山光寺壽  
 後も淨智も淨妙  
 ち。尼寺の六最

聖渡意擅林意林  
 通玄。又巖の山城  
 大和河内和泉接海  
 又三味場の河津院  
 峯真山をる於  
 の西院竹田。又  
 奇吳の竹生島東  
 大寺合峯山令別  
 音寺蒲生石塔  
 又夜の甲夜の戌し  
 夜の亥丙夜の子丁

地への法教二百六十の  
 偶積教二十易の用あり  
 百六十の得せざる歳日受  
 然法界生太白辰日生又  
 仍の星是の行の本火七

金水お生お射る子用  
 わり又氣の温涼室燥濕  
 又運の年が平の室の処平と  
 たる不夜わりの又痛の室を風  
 火水地又偏の居居父子

夜の世に夜の家。五  
大なる方隊。三番  
方大威徳。南方軍  
茶利夜叉。中央天智  
不動明王。地祇  
天照太神。忍  
極耳。手擲。梓弓  
彦火。出。人。草  
不合。天人。の。又  
衰。の。光。現。せ。ば  
花。賢。妻。悴。友。腋

より行流體便臭  
穢本座を樂ひ。又  
衛所。の。種。龍。樹  
提婆。也。意。之。名。  
高。の。又。友。月。佐。日  
る。同。室。司。士。日。冠  
。又。帝。の。美。帝。額。頂  
帝。響。唐。堯。虞。舜  
。又。聖。の。神。農。農。堯  
舜。禹。湯。の。又。子。也  
老子。莊。子。荀。子

夫婦兄弟朋友。大湖ハ  
亞細亞。利未亞。聖利。如。雲  
瓦。朧。危。加。歐。羅。巴。及。地。の。林  
川。沢。丘。陵。接。所。系。濕。五  
全。天。照。陽。全。淑。柔。全。純。者

全淑柔。全純者。全  
名。淑。柔。全。純。者。方。全。名。又  
筋。之。元。三。百。馬。踏。秋。端  
午。冬。明。の。影。佐。の。人。日。上  
巳。端。午。七。夕。の。聖。陽。の。美  
公。侯。伯。子。男。婦。の。又。等。の

角歌

十九

揚子文仲子。舜の  
みちの禹稷契皋  
陶伯益。王氏の  
又侯の王譚王高  
王季子旅子逯附  
又代の漢梁後唐  
後晋後漢後周  
唐亡び又代十三  
又十三年天下大乱  
宋一統を。和帝  
又歌傳の帝位は

后丈人孺人婦人妻  
八校を以て近侍九室三條  
一宗室自以霸朝齊桓公  
晋文公秦穆公宋襄公  
莊王不期天能之利也

宣法系元補源  
順紀時文地  
城。又漢日星和屋  
小宗大系最人系  
程の又派陳淑曹  
洞雲門流作法眼  
仙の又等の鬼仙  
人仙地仙非仙又  
仙の又等の乃士  
天去非仙山居出  
家なきが。又神の如

上杉武田越田兼道の五  
流利休有樂金兼喜  
石川嘉の又始小宗秦  
星斯八分秦の王次仲  
系秦の程逸行漢の史

海女

二十一



尺井儀五經  
 參連刺注裏  
 君表尺射白矢  
 交衢逐會九  
 亦逐多妙舞

周易毛詩尚書  
 秋礼記。医家之五  
 經の素問。是極難  
 經金匱要畧用  
 乙經。五難。六爾難  
 透難。廣難。小爾難  
 痺難。又史。史記  
 漢書。晉書。唐書  
 宋書。五代史。梁  
 後唐。後晉。後漢  
 後周。春秋。五傳。ハ

辨書

游去の後漢の劉徳升の礼  
 有軍實嘉毒の酸苦  
 辛甘鹹炎の毒黄赤  
 白黒又茶の茶本虫之穀  
 又常の仁義礼智信又徳の

温良恭儉讓又孝の文高  
 角徵羽又唇舌牙齒喉  
 五音の五音の五音の鉄  
 兩竹狗石五體の筋脈  
 肉骨皮毛又辨の心肝腎

辨書

七

尤氏公羊穀梁  
 鄒氏夾氏。本朝  
 又於本枝の中  
 枝三種枝六根法  
 枝身考考枝一切  
 成乾枝。又乾の假  
 名書。水鏡三冊  
 大鏡十八冊。常  
 鏡十冊。續世續  
 十冊。湯鏡十冊。又  
 續の物。後生。後漢

十六冊。古今事考  
 冊。今昔物語。三冊  
 古事。後六冊。續古  
 事。後六冊。入事。後  
 鏡。御案。枕。弟。紙。に  
 季。物。後。山。師。記。湯  
 殿。記。本。於。半。後。新  
 昏。の。婦。人。必。は。去。と  
 笑。し。ひ。の。後。勢。又。新  
 の。書。倭。姫。世。紀。室  
 基。本。紀。阿。波。羅。命

肺脾五液の淚汗涕  
 又木の素槐楮榆柳又  
 果の字杏栗胡桃栗五  
 穀の米大麦小麦豆小  
 豆或の福麻粟黍藜豆外

法況函之五軍ハ蒸蒸  
 葱薤胡荽又智如粟ハ  
 大目所凶室性汗泥軟迹  
 五方力羊薩ハ令別乳龍  
 王乳吾畏方乳吾畏力乳

神書

十一

紀多紀太田  
紀多紀太田

雷電吼女の隠の梵天帝

死蔵大集般  
法華涅槃。又指

秋魔王將痛座立佛身

巨食將石小  
又夢の呼音哥哭

吾事り疑之戒の殺生倫

申。又腕  
心の臭肝の色肺

盜邪媼妾淫飲酒吾事ハ毛

液。又腕の通る丸  
心の舌肝の目肺の鼻

羽裸介鱗五刑の雲劊劊

脾ハ口唇と耳  
又着着丸の心肺

丈人侍後世ハ公の杖徒

肝の魄肺の魄脾の  
玄賢の志。五牲ハ

流死死の又等ハ天子の

麋鹿鹿草狼兎  
又會ハ虎鹿然

法候。麋鹿大夫ハ卒士ハ

後鳥。又長ハ鱗  
鳳人龜蛇。鶴の

不祿鹿人ハ死今ハ相に

又徳ハ文武勇  
釋の又徳ハ文法

崩薨逝卒死ハ以五套

海歌

七三



後嗣鉄錫。又者  
沈者。丁香白檀  
純樞齊令。又後の  
斬衰齊衰大  
功小功。思麻。又  
積の瘵血氣痛  
食。又瘵の出入  
切瘵。瘵。輩の  
の又。又。又。又。又。  
陸。教。志。少。志。切。志。

六欲天の欲界の  
王切利。夜磨。兜  
率。樂。衰。化。他。化  
自在。文昌。六星。ハ  
小斗魁の星あり  
上。初。次。初。相。中  
司令。司。録。六。星。ハ  
地獄。餓。鬼。畜。生  
畜。人。万。天。上。六  
川。河。水。赤。水。遼。水  
雲。水。江。河。淮。水。五

東。公。西。南。衡。心。恆。中  
央。考。日。本。中。考。日。本。種。會。別  
宝。如。比。教。老。定。天。子。子。れ  
五。門。の。鼻。庫。維。氣。路。又  
臭。の。羶。腥。香。焦。朽。六。の。二

口。と。合。の。老。陰。の。教。之。六。合  
天。地。口。方。六。氣。陰。陽。風。雨  
晦。明。又。年。の。支。う。五。五  
運。に。組。く。運。氣。と。考。大。陽  
空。水。大。陰。濕。と。考。陽。相。又。少

海

七四

后の六の第一文  
後文又六后文三  
夫人又九婚又七  
世婦又八十の以妻  
又凡一百二十人。六  
齊月八日十八日北  
三月廿九日毎日。六  
曜の先勝友引先  
貞仁滅大安赤白  
六礼の冠昏喪祭  
ハ欣酒相見。六

大黒比丘磨河伽  
經大黒女子伽羅  
信陀夜叉摩伽羅  
六地苑延命宝丸  
持地宝平堅宝丸  
六阿弥陀の以基二  
持系形造志武家  
あり元本を西西が  
急田端下谷飛戸  
六雨又安舞。後七  
の六派一條三條

臨空入陽明燧今殿法風  
本六律の美種大藤姑洗粧  
実志則翁村六品大品  
大種仲品林種南品應  
種六雨の晨朔日中日没初夜

中夜後夜婚姻の六礼の  
納菜官名納吉納徴法  
初親迎の儀六礼樂射沙  
書教六根の眼耳鼻舌身  
六塵の色声香味觸

海

七五

科

九四



小幡白旗名越  
 畠田六清  
 清園清成清延  
 清景清法清寺  
 六卿の家宰司治宗

白司司冠目空  
 宋の唱八右原左原  
 司司司司司司司司  
 冠六朝の使朝  
 孔朝子朝工朝刑  
 朝朝朝朝朝朝朝朝  
 奉乃武志修長  
 柄各二員つて晋  
 六卿趙襄子范昭  
 子知襄子荀文子  
 韓簡子魏襄子

和歌

卅五

法六の孝友眩媼任恤  
 六書の象形會意指畫處  
 事假借造字六腑肺の腑  
 大腸心の腑小腸脾の腑胃  
 肝の腑膽腎の腑膀胱三焦

の腑心包絡六書の字牛羊  
 犬豕鷄六清肉左右通清  
 左右通左右通清六款  
 在撰小町遍眼業平軍宣  
 康秀六所川城餘藤松

角

七六

書法六大家虞世  
南歐陽詢褚遂  
良顏魯公柳公  
陸東之六朝八  
東晉宋齊梁陳  
濂洛六君子八  
茂叔邵康節司  
子溫公程明道  
伊川楊橫渠新  
六欽仙八後宋  
田後成定家亦  
陸

五言衣冠秋武  
別衛紀公毒和  
長款經款旋以  
皆冠冠の六義  
雅頌六親父子  
兄弟姊妹

西乃六史史の日本紀  
續日本紀日本後紀  
續日本後紀文德實  
録三代實録文選  
六代記ハ李晉呂  
延海劉良張鏡  
呂尚李周翰  
北木漆  
齊趙魏韓蜀秦楚  
古東三條伏見

男甥婚媾姻婭七  
教之七政日月  
北斗之七星  
玉衡罔陽搖光  
東海車山水陸  
山陰山陽

海歌

七二

舟車

七條丹波長坂野  
大系。南野七太吉  
東大興福西大元  
奥大要兼師法住  
奥別山系の七郎  
白川石川野野  
蓮安積保連修更  
○獲倉七人の小坂小  
林兼平津村村  
長尾多郎。日七瀬  
中比漢金洗沃

國康川瀨柳河  
杜戸江島。天井  
七代ハ國名三三  
玉狭提費新清  
泥去焚ゆ去焚大  
戸乃大戸也西屋  
憎根保特強保特  
冊。七福邪ハ系  
紋天大悪天昆沙  
門天意比次後福  
壽布衣和尙野

南海西海七卷ハ大系  
吉野大山日光筑波羽忠  
妙義七字山比叡比良  
侍吹神家毛宅金巻  
葛城七大河ハ筑波後の筑波

川七條の国名三三  
川奥別阿武隈川国上  
川上別利根川城別淀川  
伽藍の七堂ハ山門佛殿  
法堂方丈食堂浴室東

舟車

七八

按者多海深... 壽老人の口物... 押とと神と合ま... 故あれたら... 七の昆... 尸棄... 葉... 栳... 栳... 明消除病患生

滅苦惱... 十面准... 叙齊... 朱... 之竹林... 者... 遊... 七... 據劉... 盧

司七福... 衣深肥... 肅用自... 疫疾... 星宿... 在日月... 落... 蝕... 非... 州

風... 阮籍... 伶... 我... 大... 門... 特... 法... 痛... 業... 事

えちきまの 渾白居士の本朝南  
 系七帝元明元  
 正徳武孝徳康  
 帝称徳光仁。東  
 奥の七務源頼義  
 河美家加藤常通  
 大宅光任三系貞  
 廣高の犯季坂戸  
 則明。曆卜の七家  
 又乃家屋惠家  
 建除家最辰家



曆家天文家太一  
 家。誠後の七家ハ  
 臭水の池戸海梅  
 六中の菊逆竹三  
 度乗五方塔明法  
 寺村の火。流石の

梨本七款仙の赤深衣薄門  
 和采式部紫式部清少納  
 言伊勢止浦言内侍小式  
 部内侍杉山の七務源頼朝云  
 肥美平同遠平三盛長

新撰名臣七家  
 義実形頂の七家  
 世太田系之實忠本千女  
 醫王好も名臣の七小町の家  
 紙洗鸚鵡返園寺率勢婆

海歌

三十一

七奇ハ三ノ歌氷の  
橋社標の五根入  
杉湯山内温泉宮  
士湖ニ移座の政  
室敷集。七廟ハ  
太祖ニ三眼三穆  
法喜の七佛ハ海内  
濠原思慕ハ三礼  
唄師敷花堂ニ  
七智ハ信精を  
戒懺愧嘆

忍辱守室。七神  
精神魂魄意志  
智。七燈ハ燈  
燈曼。燈。卑慢  
我燈。燈。燈。燈  
七去如の流特実  
相。唯。織。安。立。物  
以。清。淨。心。行。  
婦の七去父母  
不。順。子。平。嬖。礼  
嬖。奴。要。疾。多。云

法の通山本七る我の酒  
伏元後本神松討切案程  
師伏本七種の粥ハ米山豆  
小角豆赤豆粟藜子葛藜  
七種の菜芹五竹菁苜蓿

酒代蕪田平子カヤハハ  
の産あれど是初もの若き字を  
婿て除くハ秋の七の事ハ藤  
萩女恋花尾ハ瞿雀藜  
葛花七宝ハ合衆瑞瑞碑



竊盜。軍の七政  
人正。神巧。火水  
兵。明朝。七才。五  
李。攀。新。三。周。洲  
謝。茂。秦。五。元。英  
何。大。復。七。書。の  
孫。子。号。子。司。馬  
法。尉。僚。子。三。畧  
六。韜。太。宗。同。對  
七。經。の。五。經。よ。く  
軍。傳。毅。深。信。也

捌  
八。風。の。條。の。度。法  
の。系。圖。圖。不。周。度  
莫。之。又。炎。條。系。巨  
系。修。羅。帝。の。八。難。ハ  
凡。渴。を。息。の。火。刀  
其。の。經。之。又。内。典。典  
比。獄。賊。鬼。畜。生。北  
川。無。志。天。佛。の。教  
世。智。兵。聰。生。盲。瘡  
癩。八。後。回。の。曠。海。の

礎。の。礎。狀。謂。冊。烟。流。珀  
七。情。の。法。怒。哀。懼。愛。惡。見  
秋。七。竅。の。耳。目。鼻。舌。唇  
口。七。聲。の。内。野。水。性。性。性  
蓮。聲。性。業。性。平。性。相。性

八。の。陰。數。之。八。極。の。口。方  
と。維。入。の。の。三。平。去。出。分  
と。夏。其。其。之。三。秋。秋。分  
と。冬。冬。之。三。八。大。地。獄。の。畜  
活。愚。繩。元。合。叫。喚。大。叫。喚

辨教

三十一

矢井水路の橋梁  
 險路と平治の父  
 孝順の門を修  
 病人の治事一老  
 厄を救済の速意  
 後。朝鮮の八  
 畿乃江系咸鏡平  
 安右清康尚令  
 経美海。富士の  
 八葉の葉所親者  
 地花後乃大日不

焦祖父人焦祖  
 五畿と七七乃を合  
 州乃東玉武親お  
 上総中総上我下  
 八乃神の太業大  
 乃軍大

初阿孫陀教迦  
 の嶽と岫。支那の八  
 邦の天を地を  
 法を陽を月を日  
 四方天の  
 東帝釈天  
 全形天南の  
 天東南の火天西  
 新天西南の  
 尖見沙門天西  
 天。八大夜又の宝賢

法策刑策破策  
 幡豹尾人天物  
 彬左郎鞍子  
 良の法  
 伯者坊  
 乃豊  
 乃坊大

法賢散支元体  
 無意大は元力  
 密嚴。施鬼八部  
 天龍夜叉乾達婆  
 緊那羅摩睺羅伽  
 人非人。唐の八仙  
 孫悟空。猪八戒  
 雜持。呂洞賓。藍采和  
 和。忽。壺子。曹  
 不。舅。韓。令。飲



中八仙の笑如章法  
 陽王李適之崔宗  
 之。孫。晉。李白。張  
 旭。焦。遂。八君子  
 趙。韓。公。韓。魏。公。文

後の百鬼目録のお怪坊  
 八省中勢式詔治詔民詔  
 詔刑詔大詔之内八詔  
 戒律俱全成案法相三  
 論天台義嚴王云八貴

金石錄林鮑七華本  
 今用。種。類。法。管。管。境  
 數祝格之八改。飲食之版  
 事。為。失。列。度。量。數。制。八  
 苦。生。老。病。死。老。別。離。怨

解數

三十四

路公可温云王  
荆公六一先生东  
坡先生山谷老人  
日本坂东の八平氏  
は上原重泰三浦云  
肥秩又大庭権系  
長尾武村の八介  
多系介と流人権理  
介秋田城介富松  
介井伊介。実左の  
八家ハ重泰小山

結城長沼佐竹小田  
宮那美形次八墓  
多武著志志宮葛  
の字治中我後著  
我後我後我後我後  
魂八神八神皇壽聖  
言曾我皇玉積  
吾皇生吾皇皇  
吾皇太皇比賣  
食津事代主八  
以皇乃吉佐九早

悟と求ふは五盛徳  
乾兌離震巽坎艮坤八  
孔明孫子吳子の法各矣  
弁陳法の八門ハ体生傷杜  
系死驚困八心乃心兌

心乃心思惟心法心業心  
今心精を心定心友八  
相成乃ハ生天兜率下死  
胎出胎若家修魔成乃胎  
法勝入涅槃八虐孫級不

辨教

三十五

辨教

三十一

良太子侍与親  
 王者太子庶廣嗣  
 掃遠成父田丸  
 火雷天非八侍  
 每成天丸之二年  
 二瑞宝三弓口宝  
 珠丸の一叙二宝持  
 三矢口溢。三言  
 八袈裟種其菩薩  
 統智菩薩金剛智  
 三卷不空三卷

乃不孝大不教不義  
 逆大逆不法入大龍王  
 難陀波難陀安羯羅和  
 修吉德又迦河形佛蓮美  
 摩耶斯優拜羅八季のほ

五畏二卷一仍阿周  
 梨果阿密梨  
 弘法大阿。淨土宗  
 八祖の言。大阿  
 樹大阿天親菩薩  
 流支三卷皇書  
 大阿乃緯福西  
 守大阿親書上  
 永字八法ハ側勅  
 努超策採啄磔  
 八木ハ松柏棠拓

六年に四季二反の森  
 乃の下のある品家ある  
 形八系六反具瀟湘を始  
 日本小院邑湖修學院  
 伏見武州令沃隅田川

麥播榆竹八葉  
 葛蒲艾蒿車  
 新荷茶葉耳  
 冬言穀藝薑  
 八穀黍稷稻  
 梁木麻菽麥  
 禾去穀稂の  
 免穢穢未種  
 珍淳熬淳母  
 炮豚炮祥持珍漬  
 熬肝勞後世の

晴嵐重暮夕照曉時  
 鴈舩帆夜雨秋月  
 南都暖暖咽名松島  
 國美をん八種の事  
 故九陽の極二三と積

九肝風髓免胎  
 掌鴉炙豹蹄狸  
 脣鯉尾八制の  
 紀法刑廢置録  
 貢礼俗刑賞田  
 玖  
 九臘六羅喉星  
 今日火臘に計  
 月本二臘之九  
 賦千方黃白赤  
 風陽の夷九山ハ

老陽の教九天の宗  
 恒星天日月入星の天  
 九地八方と中央九  
 家月仍推安の用  
 求名定九別の堯の

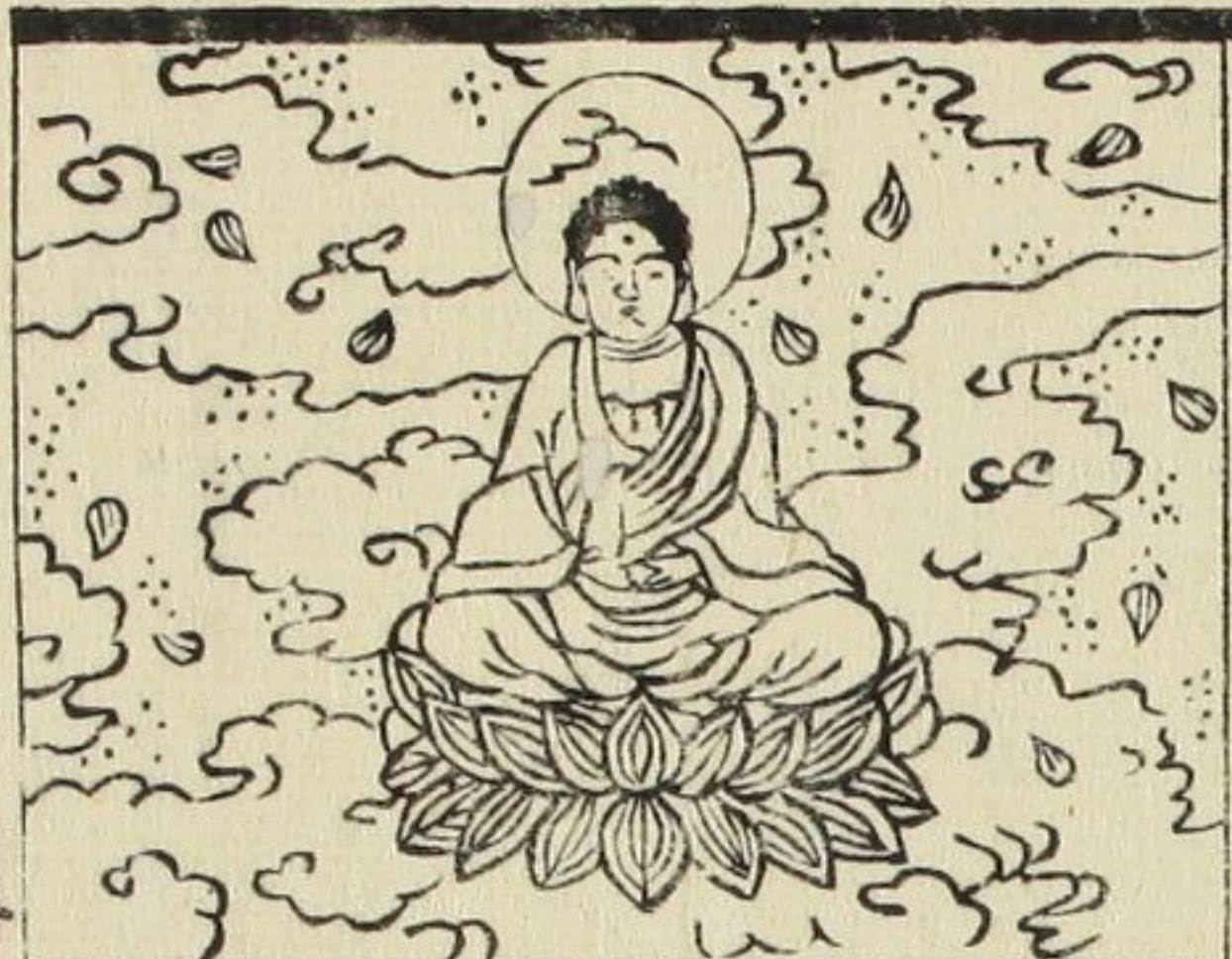
海文

三十一

金瓶山泰山王屋首  
 山名義岐山名行  
 羊腸孟門九疑  
 峯の朱明石城石  
 樓娥屋舜漆其英  
 蕭韶挂林梓林九  
 蕨の絨の具區楚の  
 雲爰秦の陽紆晋  
 の大陸鄭圃田宋の  
 孟諸齊の海隅趙  
 の鉅扉燕の昭余

宣仁年丁の荆梁徐揚  
 充箕雍殷周の少く是  
 ち日不夫筑氣花後肥前  
 肥後也委聖之後薩摩大隅  
 日向美九疇の浩範は浩書もの

九河の徒孫太史  
 頰覆谷湖獲管  
 河潔河鉤盤鬲  
 津の岳の九地の散  
 輕象交衢き地



教を法知を乃又事人政又紀  
 宮極三徳純多疑庶徵又福六  
 極九其の基三月九十日九  
 教の方面粟布衰分少産高  
 切拘隘盈胸方程勾殺九威の

和書

三十一

九品の公阿孫院  
之上中下各上生中  
生下生の目とて云  
日本九品の源利ハ  
上品上生言仲山  
上品中生天王寺  
中品上生勝子窟  
中品中生金家山  
中品下生大安寺  
下品上生慈光山

下品中生左馬下  
品下生左馬下。九  
字の八宗に源とせ  
加五城の九年一條  
より九條よりを云  
禁廟九門五更の  
下於城方九里中  
九經九緯を云。  
天子の九門の五門は  
城門近郊門遠郊  
門園門と加云。医の

三三藏中之春之左系系  
大徳修理藏之九流流家  
陸陽家法之名家及家  
家継横家雜家若家若條  
九代之時以義時恭時經時

時頼時宗貞時師時  
阿法西の九堂の武之友  
惟任惟恒和月島津系  
泚系田松浦九族之祖  
曾祖祖父已子孫常

角數

三十九



九侯ハ二部各侯  
中沈と侯之。律  
九侯の採物採幣  
杖篠弓劍拜拍  
菓。九軍ハ天子  
六軍法侯三軍  
云。九嬪ハ昭容  
昭儀昭媛修容  
修儀修媛充容  
充儀充媛。舜の  
九官ハ禹稷契皋

孫玄孫の族と云九竅ハ  
前云七竅を陽と云九  
後法二の法竅ハ合せ九  
字ハ臨兵闘者皆陳列在  
前九拜ハ秘事也此を定首

陽垂益伯夷夔  
新。劉氏の九玉  
荆楚代齊梁吳  
燕淮陽淮南王  
孔子の九世ハ叔  
梁紇仲尼伯矣  
子思子子子家  
子京子字子明  
法每宗九老伯ハ  
日印日輪日若日  
傳日範日晷日像

振動吉物凶物皆獲  
物肅物九思ハ視ハ聽ハ  
聰色ハ溫貌ハ恭事ハ敬  
疑ハ問怒ハ難ハをん之義  
言ハ忠九服ハ侯甸男采

編數

四十一

日行朗慶の目訓  
の弟子の老僧の  
宗の在りし人の  
知れぬ六の終る者  
也。九經ハ七經用  
礼儀礼。仏教九  
録真詮持音戒  
品禪門咒術論  
注解章疏傳記  
什拾  
十夜ハ浄教又十月

又日ハ十五日ハ  
云。十魔ハ六蘊  
煩惱業心病苦  
三昧智識菩提  
智十洲ハ高麗祖  
玄奘長元流生  
鳳麟聚密州。唐  
の十乃ハ国内河  
河車河州南嶺右  
淮南劔南嶺南  
。又卷ハ十寺ハ

清聖夫法藩を遠近  
依る各期考年教其定  
貞城も差あり九々の算  
教の聲積教八十一之十  
一を東西一と用ふと四

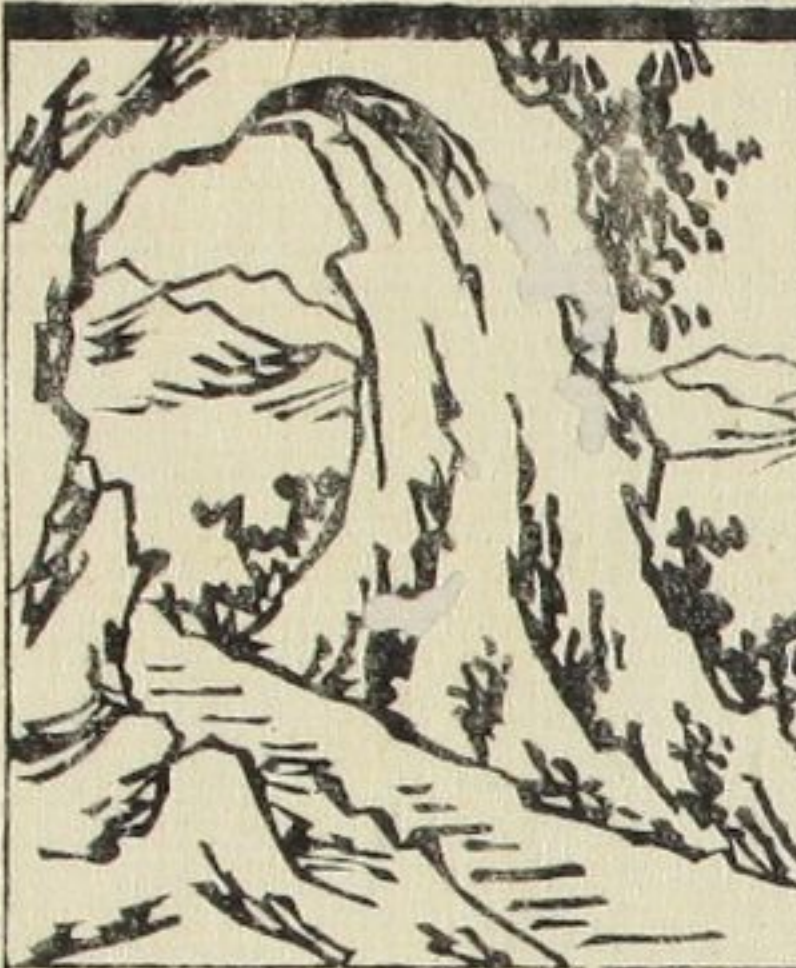
方中央國の教一を生  
十の成そのあり偶数の極  
十の九天は老静天  
加十獨の天此法陽  
五仍と人なり十幹を因

海教

四十一

真容花嚴菩薩  
奧必竹林合周法  
善和密契境大  
賢内典の十地  
欽表離垢樂光  
煥慧難勝現お  
法云。武の十地  
周旨邵公或太  
公を畢公毛公泰  
顛周大散宜生

南文括武の母  
武の十哲の田攘  
苴孫武呉紀白紀  
樂毅張良韓玄  
葛亮李靖李勣  
十大洞天の玉屋婁  
羽山西域山西義



乙丙丁戊己庚辛壬  
癸十界の地獄鬼畜  
生修羅人乃天乃聲聞  
縁是菩薩佛十地  
山林川海空法續行

東溟の字の連續して  
五地と云ふ初めも眞  
府の十五の秦唐王初江  
玄宗帝王の法魔  
王寂成王泰山王平心

辨教

四十一

辨教

四十一

玄山言城定台山  
 孫厚山尚由山林  
 山抄杖山。人倫の  
 十等の王公大夫  
 士皂典隸僚僕  
 卷。十倫の鬼衆の  
 乃君臣の義父子  
 の倫を妙の爲親  
 味の殺爵貴の能  
 夫婦の別改事の  
 均長幼の叙と下の

五劫市王將滿五十大身  
 五は既院の迦葉多受比丘  
 阿難智恵の舍利弗祇  
 目連天眼の阿那律解  
 空須菩提提提法と富

際。十れの君令  
 兄恭父慈子孝  
 妻柔姑慈婦徳  
 十鬼ハ神冥指宝  
 文筮山沢水火。  
 格式十書八延在  
 格式式仁格日式  
 貞新格日式三代  
 格於衆式合義解  
 同新解。西津玄の

樓那衛の迦羅延持戒  
 優婆塞密行の羅睺羅  
 孔門の十哲の徳の顔淵  
 閔子騫冉伯牛仲弓  
 子貢我子貢改事の

十志律礼樂刑法  
 食貨天文地理地  
 理書の藝文の医  
 家の十言脈訣湯  
 夜中系以軍雜  
 外科精義脾胃  
 論内外傷每惑  
 論紫室秘苑源  
 回集格致解論  
 局方發揮書の十  
 體の舍頤の古文

丹有子路文學の子游子  
 其十義の父慈子孝兄  
 良身悌妻義婦德長  
 直切明君に於て十能  
 六藝四能と云ふ六弓馬

史の大篆史籀の  
 籀文李斯の小篆  
 秦の王次仲の隸書  
 秦の程邈の章草  
 漢の史游が行書  
 後漢の劉休が  
 飛白蔡邕が篆  
 和歌の十種ハ幽  
 玄長青有心羅解  
 二の流面白流并  
 見板有一鳥鬼と

禮書に美を。盤連  
 歌庖丁鞠十種の香  
 法隆寺索索法道遠三  
 古聖紅麩八橋法義理  
 古木中川富橋易の

挫。十言ハ十  
 惡と為されハ是十  
 言ハ「十言ハ」  
 貪慢瞋詐  
 寛見狂松。好の  
 十身ハ非道トシテ  
 濁ベクハ深毒トシテ  
 慕ベクハ操固トシテ  
 迂ベクハ智明トシテ  
 蔽ベクハ貨トシテ  
 此物ハ淫慾等トシテ

十聖ノ象上下象上下  
 繫辭上下說卦文云序卦  
 雜卦傳云十戒ハ五戒ハ  
 含肉彩見毀待欺相十  
 如是相性體力因緣

淫ハ方と推す  
 戒ハ十事トシテ  
 貪ハ不取能虐政  
 狂ハ狂言トシテ  
 淫ハ淫言トシテ  
 慾ハ淫言トシテ  
 病ハ凍と細トシテ  
 徳ハ一ハ女トシテ  
 酒ハ嗜と血トシテ  
 困基ハ變トシテ

果報九字也是冠トシテ  
 如是中末究竟等トシテ  
 十聖ノ戒ノ名曰欲酒の  
 除死結汝惡口也舌貪  
 眩癡六を加へて十字ノ

辨數

四十五

智徳大師あきとく 真の信教まのしんぎょう  
 檀那僧だんなそう 定信教じやうしんぎょう  
 日本にっぽんの僧そう。十陵じゆりやう八山はつさん  
 階かゐ田系でんけい拍原はつげん信源しんげん  
 系けい後田ごてん系けい後山ごさん階かゐ  
 宇治うぢ中なかつ宇治うぢ後ご宇治うぢ  
 假面かめんの十作じゆさく石川いしかわ  
 赤あか藤ふじ越こゑ智ち采さい花はな流りゆう  
 光坊くわうぼう日光にっこう福来ふくらい之の  
 出い目めと云い六む後ご出しゅ

天台たいたいの十じゆ祖そ八はつ震しん旦たん天てん  
 台たい安あん岳がく之の信しん智ち志し  
 大だい師し信しん教ぎょう大だい師し慈じ  
 是こゝ大だい師し元げん三さん大だい師し

八字はちじの程ぢやう淨じやう云いと加か十じゆ程ぢやうの  
 位ゐ表ひょうのの花はな者もの櫻おう瑠る璃り杖じやう者もの  
 塗ぬるる者もの燒やう香かう幡ばん蓋がい衣い履りふ  
 者もの樂がく人にん合がっ管ぱんのの十じゆ司しのの心しん親しん  
 豆まめ猪ぶた肉にく結むす造つく酒さけ豆まめ水みづ東とう  
 西さい市いち集じふ人にん織お船ふね彩さい采さい女にょ  
 十じゆ系けいのの支し那な西さい湖こ日にっ本ぽん次じテ  
 浦うら活かつのの清せい水すい寺じ愛あい宕たう石せき東とう武ぶ  
 中ちゆう是ぜい後ご十じゆ程ぢやうと集じふ吟いん天てん  
 新しん十じゆ燒やうと稱しやう一いつ獲くわく念ねん念ねん

智徳あきとく大師だいし真まのの信しん教ぎょう  
 檀那だんな僧そう定じやう信しん教ぎょう  
 日本にっぽんのの僧そう。十じゆ陵りやう八はつ山さん  
 階かゐ田でん系けい拍はつ原げん信しん源げん  
 系けい後ご田てん系けい後ご山さん階かゐ  
 宇治うぢ中なかつ宇治うぢ後ご宇治うぢ  
 假面かめんのの十じゆ作さく石い川かわ  
 赤あか藤ふじ越こゑ智ち采さい花はな流りゆう  
 光坊くわうぼう日光にっこう福来ふくらい之の  
 出い目めと云い六む後ご出しゅ

毎文

四一五

東武の十景  
 東叡山接前池白  
 名芳 八重風武野  
 味月 霞行 雲松聖  
 堂杏 擅涉 竹暮蒼  
 遠寺 塔影 檻か  
 征帆 江府 勢戸

十井十橋と詠凡数と  
 以て唱よるの百五万頌  
 際限あるれを十と詠  
 しく禿筆と圖ぬ

畢

文久二壬戌年 初秋 大尾

# 書林

江戸人形町通松島町  
 若林喜兵衛蔵板

近澤幸山先生撰  
 豊臣英名百雄傳

中形本 初編發行  
 二三編近刻

近澤幸山先生撰注  
 般若心經繪入講釋

平假名 全一冊  
 訓読附

天祿の向諸国麻の如く乱と争戦少時も止と  
 趣意を異し至く名將勇士蜂のごとく起り各その  
 像と画し且收多群藉不據  
 治乱興亡を察するの珍書と云る  
 夫般若心經ハ大般若經六百卷中の眼目ふ  
 其徳洪大無量なりとを讀む意を得るハ難  
 茲みその意をつまびらかに説き且兒女の讀日多  
 らんがため国字の筆記  
 深長の意味一時に永解するところありん



近澤幸山先生拾遺

大全商賣往來

西假名 中本一冊 講釋附

高井蘭山先生撰

諸數 萬物往來 名寄

中形本 全一冊

商賣往來と称する書世上に流布するに既に  
然るに短畧中て商賣の用字少く童蒙常にこれ  
患ふ故に先生乃ち商賣の文字を概拾遺して是に  
附益しるに市店児童此書の文字を習得て日用の利  
便あると奉て故に及ぶ且綴合する処の古本商賣  
児童の為先生略註を加へ叟物の淵原と知らしむ  
常小座右に置く至大廣益の珍書なり

此書ハ蘭山先生童蒙の為に撰りて書ふに  
凡天地間救小關係する叟物等を集めると譬へ  
三の救ふ天地人の三才日月星の三光五の救ふ仁  
義礼智信の五常宮商角徵羽の五音寺のごと  
且文章小編と暗記の便ととら平常小此  
書と誦讀せば時小臨んく其易多るを

# 書

# 林

浅草茅町 須原屋 伊八

上野御成道 英藏

下谷仲町 岡村庄助

馬喰町二丁目 桑屋幸三郎

芝神明前 和泉屋市兵衛

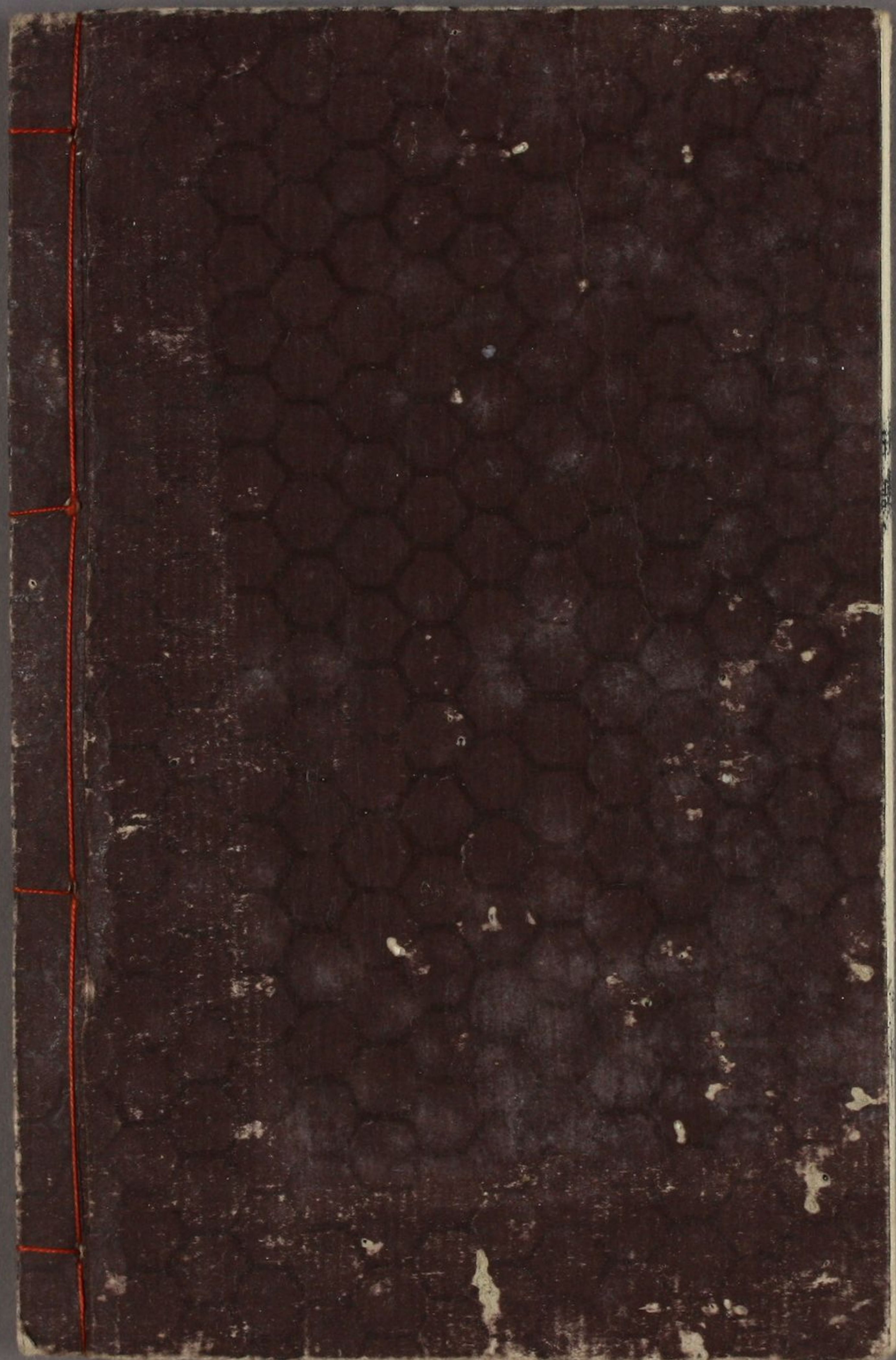
馬喰町二丁目 森屋治兵衛

同 山口屋藤兵衛

通 油町 藤岡屋慶治郎

横山町貳丁目 山崎屋清七

人形町通松嶋町 若林喜兵衛板



高井蘭山先生撰

諸數  
名寄  
萬物往來

全

東都書林

五養堂

